

ENIGMA TRICITY125 取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA (EBD270 / EBD270RTF)

対応車両 YAMAHA TRICITY125(SE82J)

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA のカプラーと接続してください。

ENIGMA 本体は、過度な振動や雨水などがかからないよう固定してください。(配線接続作業は一切ありません。)

ECU に繋がっているカプラーを外し、ENIGMA から出ているカプラーを ECU と車体側に接続してください。

「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的な TRICITY125 の整備知識が必要です。

サービスマニュアルに従って ECU と配線が作業できるようにカウルなどを取り外してください。

ノーマル車両にはシートの下ヘルメット入れを外すと ECU が有ります。

ヘルメット入れを外すには工具が必要です。ヘルメット入れを外すと、右側のカウルとの間に ECU がゴムでマウントされています。

ECU に繋がっているカプラーを外し、配線を加工して ENIGMA を割り込みさせて下さい。

ENIGMA は近くに取り付けてください。

カプラー側の配線に ENIGMA 配線を **割り込み接続**します。

(**割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です。**)

割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMA の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的に ENIGMA から出ている配線色と接続する車両の配線色は一部を除き同じです
次の図を良く見て正しく接続して下さい。

ENIGMA から接続する配線は全部で9本です。

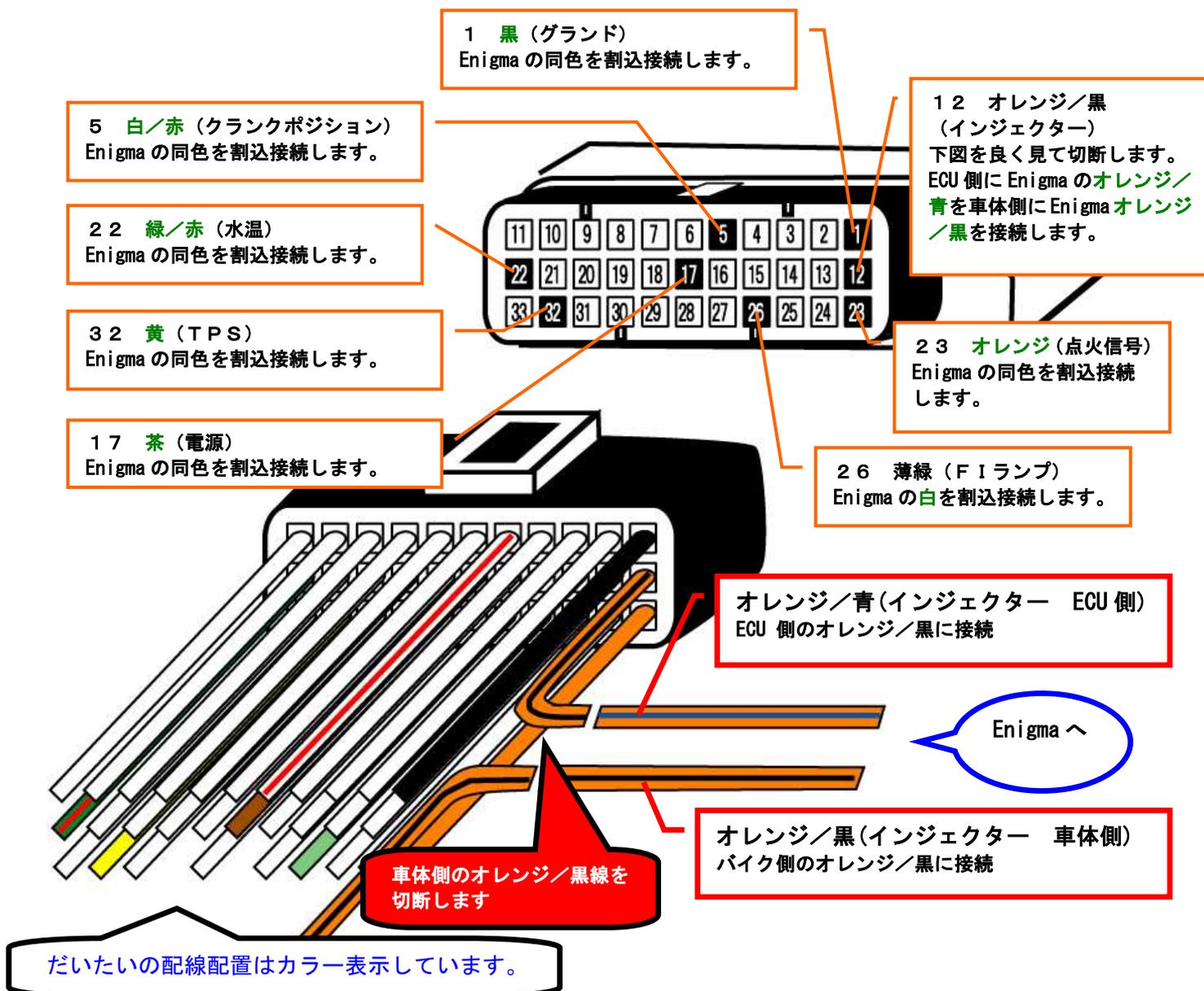
ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。

- ※ TRICITY125 図の ECU の 12 番端子 (オレンジ/黒) 線のみ切断して、ENIGMA からの配線で、バイク車体側にオレンジ/黒線を接続、ECU 側にオレンジ/青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

- ※ 26 番端子は薄緑線ですが、ENIGMA の白線と接続してください。

- ※ **配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU 端子で繋ぐのは 1、5、12、17、22、23、26、32 の 8箇所です。上図で良くご確認ください。

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA はクランク 1 回転に 1 回、5V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ PC 用ソフトは機種専用 ENIGMA TRICITY125 (SE82J) 用ソフトをお使いください。ENIGMA 用ソフトは type-P にも対応します。他のバイク用ソフトや ENIGMA の他シリーズ用ソフトは使用できません。

■ iOS 用アプリ、Android アプリは ENIGMA 専用アプリをお使いください。ENIGMA 用アプリは type-P にも対応します。ENIGMA 専用アプリは、アプリ内で TRICITY125 (SE82J) 専用バイクモデルを購入することにより TRICITY125 (SE82J) 用 ENIGMA で使用することができます。他のバイク専用のバイクモデルや ENIGMA の他シリーズ用のアプリは使用できません。

■ PC 用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

ENIGMA type-P TRICITY125 取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA (EBD270P / EBD270PRTF)

対応車両 YAMAHA TRICITY125(SE82J)

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA のカプラーと接続してください。

ENIGMA 本体は、過度な振動や雨水などがかからないよう固定してください。(配線接続作業は一切ありません。)

ECU に繋がっているカプラーを外し、ENIGMA から出ているカプラーを ECU と車体側に接続してください。

「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的な TRICITY125 の整備知識が必要です。サービスマニュアルに従って ECU と配線が作業できるようにカウルなどを取り外してください。

ノーマル車両にはシートの下ヘルメット入れを外すと ECU が有ります。

ヘルメット入れを外すには工具が必要です。ヘルメット入れを外すと、右側のカウルとの間に ECU がゴムでマウントされています。

ECU に繋がっているカプラーを外し、配線を加工して ENIGMA Type-P を割り込みさせて下さい。ENIGMA Type-P は近くに取り付けてください。

カプラー側の配線に ENIGMA Type-P 配線を **割り込み接続**します。

(**割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です。**)

割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMA Type-P の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的に ENIGMA Type-P から出ている配線色と接続する車両の配線色は一部を除き同じです。次の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMA Type-P から接続する配線は全部で 10 本です。

ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。

- ※ TRICITY125 図の ECU の 12 番端子 (オレンジ/黒) 線のみ切断して、ENIGMA Type-P から配線で、バイク車体側にオレンジ/黒線を接続、ECU 側にオレンジ/青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 26 番端子は薄緑線ですが、ENIGMA Type-P の白線と接続してください。
- ※ O2 センサーへ接続する ECU 33 番端子 (灰/赤) 線は、切断して ECU 側と ENIGMA Type-P を接続してください。切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。
- ※ **配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

- P C用ソフトは機種専用 ENIGMA TRICITY125 (SE82J)用ソフトをお使いください。ENIGMA 用ソフトは type-P にも対応します。他のバイク用ソフトや ENIGMA の他シリーズ用のソフトは使用できません。
- iOS 用アプリ、Android アプリは ENIGMA 専用アプリをお使いください。
ENIGMA 用アプリは type-P にも対応します。ENIGMA 専用アプリは、アプリ内で TRICITY125 (SE82J) 専用バイクモデルを購入することにより TRICITY125 (SE82J) 用 ENIGMA で使用することができます。
他のバイク専用のバイクモデルや ENIGMA の他シリーズ用のアプリは使用できません。
- P C用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。
iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。
<http://www.dilts-japan.com>